

部局名

地域資源創成学部

担当: (教授:熊野稔)

11 住み続けられる
まちづくりを



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



8 働きがいも
経済成長も



テーマ

持続可能なまちづくり:宮崎市中心市街地の回遊性と魅力性の向上に関する研究と地元支援

特色ある取組

宮崎市は中心市街地の衰退に対して、回遊性の向上(ウォーカブル)や低未利用地の有効活用等を今後のまちづくりの課題として取り組んでいる。2020年11月、アミュプラザみやぎの開業と宮崎駅西口広場の再整備、グリーンスローモビリティの導入により、今後のまちなかの人の流れが変化していく大きな機会となった。今後は、この機会を生かしてさらなるまちなかの賑わい、回遊性向上に向けた様々な魅力あるまちづくりが課題であり、施策や取組を調査して提言していくことが求められる。人々が今後、アーケード街等まちなかへ出かけ、まちなかの賑わいを演出していく取り組みについて、商店街等関係者によるまちづくりワークショップ、ゲーグルフォームや宮崎大学生の提言募集調査、宮崎大学まちなかキャンパス等でアンケート調査を実施してデータを集め、市民からどういった施策が今求められているのかを明らかにする。次に今後のまちなか活性化に向けた取組等をソフト、ハードに分けて、コロナ禍における中心市街地の活性化戦略の手法も考慮して提言していくことを目的として取り組んでいる。

■ 【宮崎市の助成研究調査内容】

令和3年度宮崎市地域貢献学術研究助成事業 2021年4月～2022年2月
「宮崎市中心市街地における魅力と回遊性の向上への提言に関する研究」

- ① 第5次宮崎市総合計画、宮崎市都市計画マスタープラン、宮崎市まちなか活性化推進計画(計画期間:2018～2022年度)等の行政上位計画の整理と実現評価の実施。
- ② 現地踏査。関係者への聞き取り調査、中心市街地まちづくりワークショップの実施による関係者の意識のデータ収集。
- ③ 類似都市における回遊性向上、コロナ化対策を中心としたまち中活性化先進事例調査による評価整理。計画への提言検討。
- ④ グリーンスローモビリティの調査結果の分析・活用。
- ⑤ ゲーグルフォームや宮崎大学生の提言募集調査、宮崎大学まちなかキャンパス等でアンケート調査を実施してデータを集め、市民からどういった施策が今求められているのかを調査。
- ⑥ ソフト戦略・計画として、回遊性と売り上げ向上の宮崎駅前と中心部の連携イベント・販売促進戦略・事業提案
ハード戦略・計画として、魅力と回遊性向上への景観デザイン、バス停とサイクルポート等を兼ねたパークレットデザイン、空き店舗活用提案・空き店舗対策提言、高千穂通等への歩行者利便増進道路等への検討、コロナ禍に対する中心市街地へのまちづくり政策提言等

宮崎市「まちなかの魅力と回遊性向上」に関するアンケートご協力をお願い

(実施: 宮崎大学 地域資源創成学部 熊野研究室、協力: 宮崎市)

アンケートの趣旨

2020年11月、アミュプラザみやぎの開業と宮崎駅西口広場の再整備、グリーンスローモビリティの導入により、今後のまちなかの人の流れが変化していく大きな機会となりました。

また、新型コロナウイルスの影響による自粛や様式の変化により、飲食店等厳しい状況にあります。

これらの状況から、**まちなかの賑わい、回遊性向上に向けた様々な魅力あるまちづくりが課題**となっています。

人々が今後、アーケード街等まちなかへ出かけ、まちなかの賑わいを演出していくために、どのような方々がまちなかに訪れ、そして何を求めているのか、市民の皆様が求めている施策やアイデア等の意見についてアンケートへのご協力をお願い致します。

アンケートの結果については、行政の参考資料となると共に当研究室のホームページにて公開致します。

【宮崎市中心市街地 まちなかエリア】



アンケートの回答は左記QRコードから、ウェブの「Google フォーム」で回答する方法がオススメです。

アンケートの実施



ワークショップの様子